

東海大学医学部付属八王子病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を
共同研究機関に提供して下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。
当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の
氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究
の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用される
ことについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの
受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

前向き観察研究に登録された骨髄異形成症候群における、同種移植までの橋渡し治療と移植成績の検討。JALSG AML/MDS/CMML Clinical Observational Study (JALSG-CS)-11-MDS-SCT

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、芽球増加を伴う不応性貧血(MDS-RAEB/EB)と診断された患者さんの診断後に行われた治療とその効果、および移植成績について解明することを目的とした共同研究です。

【研究の対象となる方】

2014年8月26日 から 2016年12月31日 までの間に、当院の血液腫瘍内科で芽球増加を伴う不応性貧血(MDS-RAEB/EB)と診断された患者さんの中で、診断時に70歳以下の方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2021年3月31日 まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

・診療情報等：診断名、年齢、性別、行われた治療内容、移植準備をしたかどうかとその理由、それぞれの治療の効果判定

・(同種移植が行われた患者さんのみ) 日本造血細胞移植データセンターID、移植時年齢、移植直前の IPSS-R 算定に必要な項目 (骨髓芽球%、Hb 値、血小板数、好中球数) と骨髓染色体異常有無、染色体核型、移植時 PS、HCT-CI、移植片、移植日、前処置、GVHD 予防法、生着の有無と生着日 (好中球数 500/ μ l)、血小板数 50,000/ μ l)、再発の有無、再発日、aGVHD の有無、aGVHD の最高重症度、aGVHD の発症日、cGVHD の有無、cGVHD の発症日

・(同種移植が行われなかった患者さんのみ) 移植が行われなかった理由

・(死亡患者さんのみ) 死因

【情報の提供先・提供方法】

上記の診療情報を研究事務局 (金沢大学附属病院 血液内科) ヘイターネット通信により送付します。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- ・研究代表機関：長崎大学原爆後障害医療研究所
- ・研究代表者：内科 教授 宮崎 泰司

【研究分担施設及び各施設の研究責任者】

JALSG に参加している各施設で本研究の対象となる患者さんの登録を行った施設が参加しています。参加施設の詳細は JALSG ホームページを参照して下さい。(https://www.jalsg.jp/facility)

【問い合わせ先】

東海大学医学部附属八王子病院 (電話：代表 042-639-1111 PHS: 5491)

研究責任者 血液腫瘍内科 横山 健次

問い合わせ担当者 血液腫瘍内科 横山 健次